

バプテスマを受けるのはどうして？

「一人一人.....バプテスマを受けなさい」。使徒 2:38 ペテロは言った。「悔い改めなさい。そして一人一人、罪の許しのためにイエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、無償の贈り物である聖なる力を受けます。」

34 番の歌 高潔さを捨てずに歩む

何を学ぶか*聖書を学んでいる人にとって、バプテスマは大切なステップです。バプテスマを受けたいと思う動機は愛です。何に対する愛でしょうか。バプテスマを受けた人はどんな生き方をしようになりますか。この記事ではこうした点を考えます。

1-2. バプテスマの時にはどんな光景を目にしますか。この記事ではどんなことを考えますか。

次のような場面を見たことがありますか。バプテスマ希望者が起立します。話し手の2つの質問に対して、大きな声で「はい」と答えます。そして、いよいよバプテスマの時が来ます。見守る家族や友達はみんなうれしそうです。バプテスマを受けた人が水から上がると、大きな拍手が起こります。その人の表情から喜びが伝わってきます。このようにして、毎週何千人もの人たちがバプテスマを受け、エホバの証人になっています。

2 あなたもバプテスマを受けたいと思っていますか。もしそうなら、「エホバに導きを求める」あなたは、今の悪い世の中で光り輝く存在です。（詩 14:1, 2 愚かな(*無分別な)人は心の中で言う。「エホバはいない」。彼らの行動は腐敗していて忌まわしい。善いことを行う人は誰もいない。2 エホバは天から人々を見下ろしている。洞察力のある人、エホバに導きを求める人がいるかどうかを見るために）この記事は、若くても年を取っていても、バプテスマを受けたいと思っているあなたのために準備されました。すでにバプテスマを受けた兄弟姉妹にとっても、エホバにずっと仕えていきたいという気持ちを強めるものとなるでしょう。では、私たちがエホバに仕える3つの理由を考えてみましょう。

真実で正しいことを愛している



サタンは何千年の間、エホバのことを悪く言ってきた。（3-4 節を参照。）

3. 真実で正しいことを愛することが大切なのはどうしてですか。（詩編 119:128, 163）

3 エホバは「ご自分の民」に、「真実.....を愛しなさい」と言いました。（ゼカ 8:19 大軍を率いるエホバはこう言う。『第4の月の断食、第5の月の断食、第7の月の断食、第10の月の断食は、ユダの民にとって歓喜と喜びの時、喜びの祭りとなる。だから、真実と平和を愛しなさい』）イエスも弟子たちに、「正しいことを追い求めるように」と教えました。（マタ 5:6 正しいことを切望している人たちは幸福です。満たされるからです）これは、エホバから見て正しくて清くて良いことを行いたいという強い気持ちを持つ必要がある、ということです。あなたは真実で正しいことを愛していることでしょう。うそや間違っていることや悪いことを憎んでいるはず（詩編 119:128 私にとって、あなたからの指示(*命令)はどれも正しい。私はあらゆる偽りの道を憎む、163 偽りを憎む。ひどく嫌う。あなたの律法を愛するを読む。）うそは、この世界を支配しているサタンの特徴です。（ヨハ 8:44 あなた方は、あなた方の父、悪魔から出ていて、自分たちの父が欲することを行おうとしています。その者はその始まりから人殺しで、真理から離れました。真理を好まないからです。彼にとって、うそを語るのは自然なことです。うそつきで、うその根源(d*父)だからです。12:31 今、この世は裁かれています。もうこの世の支配者は追い出されます）サタンはエホバの評判を傷つけたいと思っています。エデンで人間を唆して以来、エホバについてのうそをずっと広めてきました。エホバのことを、うそつきで人間に良いものを与えてくれない利己的な神だ、と言っています。（創 3:1 さて、エホバ神が造った野生動物の中で蛇が最も用心深かった(*利口だった)。蛇が女に言った。「あなたたちは庭園の全ての木の実を食べてはならない、と神が言ったのは本当ですか」、4, 5 蛇は女に言った。「あなたたちは決して死にません。5 その木の実を食べた日に、目が開かれ、あなたたちが神のようになって善悪を知るようになることを神は知っているのです」）こうしたうそは、多くの人の考え方に影響を与えてきました。それで、「真実.....を愛し」ていないなら、サタンに惑わされて正しくないことや悪いことを行ってしまうかも知れません。（ロマ 1:25-31 神の真理の代わりに偽りを信じ、創造した方ではなく創造された物を崇拜してそれに神聖な奉仕をしました。永遠に賛美されるべきなのは創造した方です。アーメン。26 それで、神は彼らが恥すべき性欲に溺れるままにしました。女性は自然に反して女性同士で関係を持ち、27 男性も女性と自然な関係を持つ代わりに男性同士で欲情を激しく燃やし、みだらなことを行って十分な罰(*報い)を受けました。過ちに対して当然の罰です。28 彼らが神を認めようとしなかった(*神を正確に知るべきことを認めなかった)ため、神は彼らが堕落した(*神に認められない)考え方をして不適切な事柄を行うに任せました。29 彼らは、あらゆる不正、邪悪、食欲(*強欲)、悪に満ち、ねたみや殺意、争い、欺き、悪意にあふれ、うわさ話をし、30 陰口をたたき、神を憎み、横柄で、傲慢で、自慢ばかりし、悪事をたくらみ、親に不従順で、31 理解力がなく、合意したことを守らず、自然な愛情を持たず、憐れみがありませんでした)

4. 「真理の神」エホバはどんなことをしてくれていますか。（挿絵も参照。）

4 エホバは「真理の神」です。（詩 31:5 私は命(*生命力)をあなたの手に託す。真理の(*信頼できる)神エホバ、あなたは私を救って(d*買い戻して)くださった）ご自分を愛する人たちに真理を惜しみなく教えてくれています。そのようにして、サタンのうそから私たちを救い出してくださっています。また、正直で正しいことを行うようにとも教えています。その通りにするなら、自尊心を持ち、穏やかな気持ちでいることができます。（格 13:5, 6 正しい人はうそを憎み、悪人たちの行動は恥と不名誉をもたらす。6 正義は無実の人を保護し、悪は罪人を倒す）あなたもこれまで聖書を学んできて、エホバが教えてくれていることが自分や全ての人のためになることを実感しているでしょう。（イザ 48:17 あなた

を救う(d*買い戻す)方、イスラエルの聖なる方、エホバはこう言う。「私エホバは、あなたの神である。あなたのためになる生き方を教え、あなたを導いて正しい道を歩ませる」そうであれば、エホバから見て正しいことを行いたいと思っていますはずです。(マタ 6:33 ですから、王国と神から見て正しいことをいつも第一に下さい。そうすれば、こうしたほかのもの全て、あなたたちに与えられます。) また、本当のことを伝えたい、サタンがエホバについて言っていることがうそだということを明らかにしたい、とも思っていることでしょうか。では、そのためにどんなことができるでしょうか。

5. 真実で正しいことを愛していることをどのように示せますか。

5 どんな生き方を選ぶかは大切です。生き方によって次のように思っていることを示せます。「私はサタンのうそを信じたりはしません。真理を大切にします。エホバを自分の神として選び、エホバから見て正しいことを行いたいです」。どうすればこうした生き方ができるでしょうか。祈りでエホバに献身し、バプテスマを受けることです。真実で正しいことを愛しているなら、バプテスマを受けたいという気持ちになるでしょう。

イエス・キリストを愛している

6. 詩編 45 編 4 節によると、イエスにはどんな魅力的なところがありますか。

6 私たちがイエスを愛しているのはどうしてでしょうか。詩編 45 編 4 節輝きを帯びて勝利(*成功)へと進みますように。真理と謙遜と正義のために乗り進みますように。あなたの右手は驚くことを成し遂げるにその理由が書かれています。(読む。)その聖句によると、イエスは真理と謙遜さと正義を大切にしています。もしあなたが真実で正しいことを愛しているなら、イエスに魅力を感じることでしょう。イエスは勇気を持って真実で正しいことを語りました。(ヨハ 18:37 ピラトは言った。「それでは、あなたは王なのだ」。イエスは答えた。「その通りです。真理を明らかにする(*について証言する)こと、このために私は生まれ、このために私は世に來ました。真理に従う人は皆、私の声を聞きます」)では、謙遜さについてはどうでしょうか。

7. イエスはどのように謙遜さを示していますか。謙遜なイエスについて、あなたはどう感じますか。

7 イエスは謙遜な方です。自分に注目を集めようとするのではなく、いつもエホバが賛美されるようにしています。(マル 10:17, 18 イエスが進んでいくと、ある男性が走ってきてひざまずき、こう質問した。「善い先生、永遠の命を受けるには何をしなければなりませんか」。18 イエスは言った。「なぜ私のことを善いと呼ぶのですか。神以外に善い者は誰もいません。ヨハ 5:19」それでイエスはユダヤ人たちにこう言った。「はつきり言っておきますが、子は自分からは何一つ行えず、父がしていることを見て行えるにすぎません。何でも父がすることを子も同じように行います) あなたはこのように謙遜なイエスについてどう感じますか。魅力的に感じ、ぜひ見習いたいと思うではありませんか。イエスが謙遜なのは どうしてでしょうか。謙遜なお父さんエホバを愛していて、見習っているからです。(詩 18:35 あなたは救いの盾を私に与え、右手で私を支えてくださる。私が優れた者になれるのはあなたが謙遜だから。ヘブ 1:3 神の子は、神の栄光を反映し、神の本質を完全に表して、力強い言葉によって全てのものを支えています。そして、私たちを罪から清め

だ後、天で威光に輝く神の右に座りました) エホバと性格がそっくりなイエスに、きっとあなたも引かれることでしょう。

8. イエスが素晴らしい王だと言えるのはどうしてですか。

8 イエスは王としても素晴らしい方です。イエスはエホバから直接訓練を受け、王として任命されました。(イザ 50:4, 5 主権者である主エホバは、私に話し方を教えて(*よく訓練された舌を私に与えて)くださった。疲れた人に適切な言葉で答え(if*を適切な言葉で力づけ)られるように。神は毎朝、私を目覚めさせてくださり、私が生徒のように耳を澄まして聞けるようにしてくださる。5 主権者である主エホバが私の耳を開いてくださった。私は反抗的ではなく、背を向けることはなかった)そして、私たちを愛して自分の命さえ与えてくださいました。(ヨハ 13:1 イエスは、過ぎ越しの祭りの前に、自分がこの世を去って天の父のもとに行くべき時が来たことを知った。そして、世にいて自分に従う人たちを、それまでも愛してきたが、最後まで愛した)そんなイエスにぜひ愛を示したいと思いませんか。イエスを心から愛しているなら、イエスから命じられている通りにするでしょう。そうすれば、イエスから友と見てもらうことができます。(ヨハ 14:15 あなたたちは、私を愛しているなら、私のおきてを守ります; 15:14, 15 私が命じていることを行うなら、あなたたちは私の友です。15 私はあなたたちをもう奴隷とは呼びません。奴隷は主人が行うことを知らないからです。私はあなたたちを友と呼びました。天の父から聞いたことを全てあなたたちに知らせたからです) 神の子の友になれるというのは本当に素晴らしいことではないでしょうか。

9. イエスのバプテスマと弟子たちのバプテスマには、どんな共通点がありますか。

9 イエスが弟子たちに命じたことの中には、バプテスマを受けることが含まれています。(マタ 28:19, 20 それで、行って、全ての国の人々を弟子としなさい。父と子と聖なる力の名によってバプテスマを施し、20 私が命令した事柄全てを守るように教えなさい。私は体制の終結までいつの日もあなたたちと共にいるのです) イエス自身バプテスマを受けました。イエスのバプテスマと弟子たちのバプテスマには、違いがあります。(「イエスのバプテスマと弟子たちのバプテスマの違い」の囲みを参照。)でも、共通点もあります。イエスはバプテスマを受けた時、エホバの望むことを行うために自分を差し出しました。(ヘブ 10:7 私は言いました。『ご覧ください、私は来ました。巻物に私について書いてある通り、神よ、あなたの望まれることを行うためにです』) 弟子たちはバプテスマによって、自分がエホバに献身したことをみんなに明らかにします。その後は、自分ではなくエホバの望むことを行う生き方をするようになります。そのようにしてイエスに見習います。

イエスのバプテスマと弟子たちのバプテスマの違い



イエスのバプテスマ

イエスはエホバに献身したイスラエル国民の一員として生まれたので、改めて献身する必要はありませんでした。(出 19:4-8 『あなたたちは、私がエジプト人に行ったことを見た。それは、あなたたちをワシの翼に乗せて私の所に連れてくるためにしたことである。5 私の声 にしっかり従い、私との契約を守るなら、あなたたちは必ずあらゆる民の中から選ばれて私の特別な(*宝のような)所有物となる。地球全体は私のものである。6 あなたたちは私にとって、祭司たちが治める王国、聖な

る国民となる』。あなたはこれらのことをイスラエル人に言うべきである」。7 モーセは下りて行って民の長老たちを呼び、エホバが命じたこれらの言葉を全て告げた。8 すると民は皆一致して答えた。「**私たちは、エホバが話した全てのことを喜んで行います**」。モーセはすぐに民の反応をエホバに知らせに行った)

イエスは完全で罪のない方だったので、**罪を悔い改めたり、健全な良心を神に願い求めたりする必要はありません**でした。(ヘブ 4:15 私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できないような方ではありません。あらゆる点で私たちと同じように試され、**しかも罪がない方です**。ペテ 2:22 キリストは**罪を犯さず、欺きを語ったこともありませんでした**)



弟子たちのバプテスマ

今は、古代イスラエル国民のように**生まれつきエホバに献身した国民や人種の人はいません**。(使徒 10:34, 35 そこでペテロは話し始めた。「神が不公平ではないことがよく分かりました。35 **神を畏れて正しいことを行う人はどの国の人でも**神に受け入れられるのです) それで、**バプテスマを受ける前にエホバに献身する必要があります**。

私たちは**不完全**なので、これまでの**罪を悔い改め、健全な良心を願い求めるためにバプテスマを受ける必要**があります。(使徒 2:38 ペテロは言った。「**悔い改めなさい。そして一人一人、罪の許しのためにイエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい**。そうすれば、無償の贈り物である聖なる力を受けます。ペテ 3:21 **これに相当するものであるバプテスマ(*)** (肉体の汚れを除くことではなく、**健全な(*晴れ晴れとした/正しく機能する)良心を神に願い求めること**) により、今皆さんは**イエス・キリストの復活を通して救われています**)

10. あなたがイエスを愛しているのはどうしてですか。その愛をどのように示せますか。

10 ここまで考えてきた通り、**イエスはエホバ神の独り子で、王国の王として任命**されました。**エホバと性格がそっくりで、謙遜な方**です。**地上にいた時**には、おなかをすかせていた人たちに**食べ物を与え**ました。**落ち込んでいた人たちを力づけたり、病気の人を治したり**もしました。(マタ 14:14-21 イエスは岸に下り、大勢の人を見た時、**かわいそうに思い、病気の人たちを治した**。15 夕方になる頃、弟子たちが来て言った。「ここは辺りな場所です、もう遅い時間です。群衆を解散させ、村に行って自分で食べ物を買えるようにしてあげてください」。16 しかしイエスは言った。「その必要はありません。**あなたたちが食べ物を与えなさい**」。17 弟子たちは言った。「**5つのパンと2匹の魚しかありません**」。18 イエスは、「私の所に持ってください」と言った。19 そして、草の上に座るよう群衆に指示した。**5つのパンと2匹の魚を取り、天を見上げて祈り、パンを割って弟子たちに渡し、次いで弟子たちが群衆に与えた**。20 こうして**皆が食べて満足した。余ったかけらを拾うと、12個の籠がいっぱいになった**。21 **食べた男性は約5000人で、女性や子供もいた**) 今では**世界中の会衆の活動を監督**しています。(マタ 23:10 また、指導者と呼ばれてもなりません。あなたたちの**指導者はキリストひとりだからです**) そして**将来、王国の王としてさらに素晴らしいことを**してくれま。このようなイエスに、あなたはきっと**魅力を感じていること**でしょう。では、**イエスへの愛をどのように示せる**でしょうか。**イエスの手本に倣う**ことです。(ヨハ 14:21 **私のおきてを受け入れてそれに従う人は私を愛しています。さらに、私を愛する人は父に愛されます。そして私はその人を愛して、自分のことをはっきり知らせます**) そのためには、**エホバに献身してバプテスマを受ける**ことが大切です。

エホバを愛している

11. バプテスマを受ける一番の理由は何ですか。

11 バプテスマを受ける一番の理由は何でしょうか。イエスは神のおきての中で最も重要なものについてこう言いました。「あなたは、心を尽くし、知力を尽くし、力を尽くし、自分の全てを尽くして、あなたの神エホバを愛さなければならない」。(←マル 12:30) あなたもエホバにこのような愛を抱いていますか。



エホバは、私たちが今も将来も幸せを味わえるように、たくさんの良いものを与えてくださっている。(12-13節を参照。)

12. あなたがエホバを愛しているのはどうしてですか。(写真と挿絵も参照。)

12 エホバを愛する理由はいろいろあるでしょう。例えば、エホバは「命の源」です。「良い贈り物、完全な贈り物は全て」エホバが下さったものです。(詩 36:9 あなたは命の源。あなたの光によって私たちは光を見ます。ヤコ 1:17 良い贈り物、完全な贈り物は全て、天から、光(*天体の光)の父から来ます。父は移り変わる影のように変化したりはしません(*父には影の移動による変化もありません)) 優しいエホバは、私たちが喜びや幸せを感じることができるように、たくさんのものを与えてくださっています。

13. 贖いが素晴らしい贈り物と言えるのはどうしてですか。

13 贖いもエホバからの素晴らしい贈り物です。エホバとイエスの絆がどれほど強いものか、考えてみてください。何十億、何百億年ものあいだ一緒にいて、ふたりの絆は強まっていきました。

(格 8:22, 23 エホバが、創造の初めとして、昔の偉業の最初として私を生み出した。23 私は、昔から据えられた。初めから、地球より前の時代から、30その時、私は優れた働き手として神のそばにいた。私は毎日、神が深い愛情を抱く存在で、いつも神の前で喜んだ) イエスは、「私[は]父を愛している」, 「父は私を愛してください」と言いました。(ヨハ 10:17 父は私を愛してください。私が命をなげうつからです。それは私が再び命を受けるためです; 14:31しかし、私が父を愛していることを世の人々が知るために、父が命じた通りにしています) ですから、エホバにとってイエスが苦しんで死ぬのを見るのは本当につらいことでした。それでも、あなたを含め人類全てを心から愛しているので、永遠に生きられるようにイエスを犠牲として与えてくださいました。(ヨハ 3:16 神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛したのです。そのようにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ぼされないで永遠の命を受けられるようにしました。ガラ 2:20 私はキリストと共に杭にくぎ付けにされています。もう自分のためには生きておらず、キリストと結び付いて生きています(d*生きているのはもはや私ではなく、私と結び付いて生きているキリストです)。人間としての今の命

を、神の子への信仰によって生きているのです。神の子は私を愛し、私のために自分を差し出してくださいました) こうしたことを考えると、エホバにもっと引き寄せられることでしょう。

14. どんな生き方が最高の生き方ですか。

14 エホバについて知るにつれて、エホバへのあなたの愛は深まってきたことでしょう。永遠にわたってエホバとの絆を強めていきたいと思っているに違いありません。エホバは、ご自分の喜ぶことを行うようにと私たちに教えています。(格 23:15, 16 わが子よ、あなたの心が賢くなったら、私は心から喜ぶ。16 あなたの唇が正しいことを語るとき、私は心の奥底(d*腎臓)から歓喜する) エホバに喜んでいただくためには、言葉だけでは十分ではありません。生き方によって、エホバを心から愛していることを表すことができます。(ヨハ 5:3 神を愛するとは、神のおきてを守ることです。神のおきては重荷ではありません) これは本当に最高の生き方です。

15. エホバを愛していることをどのように示せますか。

15 エホバを愛していることをどのように示せるでしょうか。特別な祈りを捧げ、エホバに献身します。(詩 40:8 私の神、あなたの望まれることを喜んで行います(*望まれることを行うのは私の願いです)。あなたの律法は私の奥深くにあります) そしてバプテスマを受け、献身したことをみんなの前で明らかにします。この記事の初めに考えた通り、これはとても幸せなひとときになります。そしてバプテスマの後には、自分のためではなくエホバのために生きるようになります。(ロマ 14:8 生きるのならエホバ(*)のために生き、死ぬのならエホバ(*)のために死ぬのです。生きるにしても死ぬにしても、私たちはエホバ(*)のものです。ペテ 4:1, 2 キリストは人間として苦しんだのですから、皆さんもキリストと同じ精神を身に付けて(*決意を抱いて)ください。苦しんだ人は、罪を捨てた人なのです。2 その人は残りの生涯を、もはや人間の欲望のためにではなく、神の望むことを行うために生きます) バプテスマはとても大きな決定に思えるかもしれませんが、その先には本当に素晴らしい人生が待っています。

16. 詩編 41 編 12 節からすると、エホバはご自分に仕える生き方を選ぶ人たちにどんな祝福を与えますか。

16 エホバは、惜しみなくあふれるほどに与えてくださる方です。私たちがエホバのために何かをする時、想像を超えた祝福を与えてくださいます。(マル 10:29, 30 イエスは言った。「はっきり言いますが、私のため、また良い知らせのために、家、兄弟、姉妹、母親、父親、子供、あるいは畑に別れを告げた人は皆、30 今この時期に(*現在)百倍を、家、兄弟、姉妹、母親、子供、畑を迫害と共に得て、新しい体制で永遠の命を得ます) エホバに仕えることを選ぶなら、今の悪い世の中でも喜びと充実感を味わえます。でもそれだけではありません。お父さんエホバに仕える人生を永遠に楽しむことができます。エホバとの絆はどんどん強まっていくことでしょう。そして、エホバと同じようにいつまでも生きることができるのです。(詩編 41:12 私が忠誠を尽くすので、あなたは私を支えてくださる。私を永遠にあなたの前に置いてくださるを読む。)

17. 私たちはエホバにどんな貴重なものを差し出すことができますか。

17 エホバは私たちにたくさんの良いものを与えてくださっています。私たちが楽しい時間を過ごせるのもエホバのおかげです。献身してバプテスマを受ける時、私たちからもエホバに貴重なも

のを差し出す機会が開かれます。その貴重なものとは何でしょうか。私たちが自分の全てを尽くして喜んで行う奉仕です。それは、天と地の所有者であるエホバでさえ持っていないものです。

(ヨブ 1:8 エホバはサタンに言った。「私に仕えるヨブに注目したか。地上に彼のような人はほかにいない。神に忠誠を尽くす(*非難されるところがない)正直な人で、神を畏れ、悪から離れている」; 41:11 誰がまず私に与えたので、私が報いなければならないのか。天の下にある全ては私のものだ。格 27:11 わが子よ、賢くあって、私の心を喜ばせよ。私をあざける(*に挑む)者に私が答えるためである) エホバに喜んで仕える生き方ほど素晴らしいものはありません。バプテスマを受ける一番の理由はエホバへの愛なのです。

先延ばしにする理由がありますか

18. どんなことを考えるとよいですか。

18 あなたはバプテスマを受けることができますか。この点を真剣に考えるのは大切なことです。

(使徒 8:36 道を進んでいくと、水がある所に来た。すると高官は言った。「見てください、水があります。私がバプテスマを受けられない理由が何かあるのでしょうか」) もし迷っているなら、この記事で取り上げた3つの点を考えてみてください。1つ目に、①あなたは真実で正しいことを愛しているでしょう。次のように自問できます。「自分は、全ての人が真実を語り、正しいことを行う時代が来てほしい、と思っているだろうか」。2つ目に、②あなたはイエス・キリストを愛しているでしょう。こう考えてください。「自分はイエスに王として治めてもらいたいと思っているだろうか。イエスの手本に倣いたいと思っているだろうか」。3つ目に、③一番大事なこととして、あなたはエホバを愛しているでしょう。こう自問できます。「自分はエホバに仕えてエホバに喜んでもらいたいと思っているだろうか」。こうしたことを心から願っているなら、バプテスマを先延ばしにする理由が何かあるのでしょうか。(使徒 16:33 牢番は、その夜に2人を連れていって傷の手当てをした。そして、家の人全員と共にすぐにバプテスマを受けた)

19. バプテスマを受けることをためらう必要がないのはどうしてですか。 (ヨハネ 4:34)

19 バプテスマをためらっているなら、ヨハネ 4 章 34 節 イエスは言った。「私の食べ物とは、私を遣わした方の望むことを行い、与えられた仕事を成し遂げることです」のイエスの言葉を考えてみてください。(読む) そこでイエスは、エホバの望むことを行うことは食べ物に似ていると言いました。食事をすることは私たちのためになります。イエスは、エホバの望むことを行うなら私たちのためになるということが分かっていました。エホバの言う通りにして悪い結果になるということは決してありません。エホバは、私たちがバプテスマを受けることを望んでいます。(使徒 2:38) 私たちに“最高の食事”を楽しんでほしいと思っているのです。バプテスマを受けることは必ず私たちのためになります。そうであれば、バプテスマを受けることを前向きに考えてみるのはどうでしょうか。

20. 次の記事ではどんなことを考えますか。

20 中には、「自分にはまだ早い」と考えてバプテスマをためらう人もいるかもしれません。確かに献身とバプテスマは人生の中でも大きな決定です。それで、じっくり考えるのは良いことです。

。バプテスマを受けられる段階まで進歩するには時間や努力が必要でしょう。では、具体的にどんなことができるでしょうか。その点は次の記事で考えます。

次のような愛があれば、バプテスマを受けたいと思うようになるのはなぜですか

1. 真実で正しいことへの愛

・S04 エホバは「真理の神」で、ご自分を愛する人たちに真理を惜しみなく教えてくれて、サタンのうそから私たちが救い出してくださっている。また、正直で正しいことを行うようにとも教えて、私たちが自尊心を持ち、穏やかな気持ちでいることができるようにしてくださっている。エホバが教えてくれていることが自分や全ての人のためになることを実感し、エホバから見て正しいことを行いたい、本当のことを伝えたい、サタンがエホバについて言っていることがうそだということを明らかにしたい、とも思っている。

・S05 「私はサタンのうそを信じたりはせず、真理を大切にし、エホバを自分の神として選び、エホバから見て正しいことを行いたい」と思って生き方を、祈りでエホバに献身しバプテスマを受けることによって選べる

2. イエス・キリストへの愛

・S06 イエスは真理と謙遜さと正義を大切にしているので、私たちが真実で正しいことを愛しているなら、イエスに魅力を感じるはず

・S07 謙遜なお父さんエホバを愛して見習っている、謙遜でエホバと性格がそっくりなイエスに魅力を感じ、ぜひ見習いたいと思う

・S08 イエスはエホバから直接訓練を受け、王として任命された王としても素晴らしい方。私たちが愛して自分の命さえ与えてくださったイエスから命じられている通りにするなら、イエスから友と見てもらうことが可

・S09 イエスが弟子たちに命じたことの中には、バプテスマを受けることが含まれる。弟子たちもバプテスマの後には自分ではなくエホバの望むことを行う生き方をするようになって、イエスに見習うことができる

3. エホバへの愛

・S11 バプテスマを受ける一番の理由は、私たちが、心を尽くし、知力を尽くし、力を尽くし、自分の全てを尽くして、私たちの神エホバを愛しているから。

・S12 エホバは「命の源」で「良い贈り物、完全な贈り物は全て」エホバが下さった。私たちが喜びや幸せを感じることができるように、たくさんのものを与えてくださった優しいエホバを愛する理由はいろいろある。

・S13 何十億、何百億年ものあいだ一緒にいて、エホバとイエスの絆は非常に強いのに、人類全てを心から愛しているので、イエスが苦しんで死ぬのを許され、イエスを犠牲として与えてくださったので、私たちはエホバにもっと引き寄せられた

・S14-15 生き方によって、エホバを心から愛していることを表すことができるのは、最高の生き方。特別な祈りを捧げ、エホバに献身し、バプテスマを受けて、それをみんなの前で明らかにし、その後は自分のためではなくエホバのために生きる素晴らしい人生

・S16 惜しみなくあふれるほどに与えてくださるエホバは、私たちがエホバのために何かをする時、想像を超えた祝福を与えてくださる。喜びと充実感を味わえ、エホバに仕える人生を永遠に楽しめる

・S17 献身してバプテスマを受ける時、私たちからも、エホバに貴重なもの「自分の全てを尽くして喜んで行う奉仕」を差し出す機会が開かれる

28 番の歌 エホバの友となる